

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム菜の花東苗穂館Ⅱ	評価実施年月日	平成21年10月25日～平成21年11月5日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月30日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>ホーム理念として、「地域とのふれ合いを大切にした暮らし」を加え、その人らしく生活ができるように事業所独自の理念を作り上げている。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>スタッフルーム前に掲示している。スタッフのネームプレートの中に、何時でも確認出来るよう理念をいれている。又、ユニット会議の中でも管理者と職員は、仕事優先では無く、毎日ご利用様がゆったりと充実感のある暮らしや自分らしさや誇りの持てる暮らしになる様日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>パンフレットにも理念を記載し、運営推進会議参加者に配布している。又ご家族様に見て頂けるように玄関に掲示してある。地域の方に少しずつ理解され浸透して来ている。ご家族様にもご利用様が地域の方と交流をされている事をお知らせしている。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>散歩時、近隣の方と挨拶等をし、会話を楽しんでいる。菜の花東苗穂館主催のお祭りには住民の方が沢山のバザー用品を提供していただき、お祭りに参加し楽しんでいた。</p>	○	近隣の方が気軽にホームに立ち寄って頂けるよう努めて行きたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会活動に参加し、その様子などを菜の花新聞に掲載している。又防災訓練時には、町内会の方にも参加して頂き消火訓練、見守りなどの協力をして頂いている。町内の花壇作り、清掃活動に参加し地域の人々と交流している。</p>		
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>地域の方で、高齢者と同居されているご家族様が、介護について相談に来られている。子供110番の家となっている。認知症キヤラバンメイトの講習を受け運営推進会議の中で認知症になっても住み慣れた地域での生活が出来るよう話している。地域の方との交流時には、介護相談を行っている事をつたえている。</p>	○	町内会、地域包括支援センター、地区の民生委員、町内会婦人部、町内会、老人クラブと今後も交流を継続して行けるように努めたい。気軽に介護相談に来て頂けるようにして行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員に自己評価表を配り取り組んだ事で、意義や目的が把握できている。又外部評価結果をユニット会議で伝え実践につなげて行けるよう努めている。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に一度開催し、ホームでの取り組み内容や日常生活の取り組み、行事報告等をしている。ご家族様や参加者様の意見、評価を頂き、今年度から新しい構成員を迎え入れ、サービスの質の向上に活かしている。</p>	○	他館の運営推進会議に参加させて頂き、サービスの向上にどう活かしているのか学んで来た事を当ホームでも導入し、運営推進会議の内容をもっと充実しサービス向上に活かしていきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域包括支援センター、市の福祉課に書類の相談、又札幌市の管理者会議などで学んだ事や市からの連絡事項を職員に周知させてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>権利擁護事業や成年後見人に関する制度については研修会に出席し学んでいる。ご利用者様で必要な人に対し支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>内部、外部の研修に参加し、積極的に虐待防止について学んでいる。又ホームでも虐待のない介護を実践している。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時、本社職員と共に十分説明を行い、更にご家族様に不安や疑問点がないように努めている。又解約の際はご家族様と話し合い、しっかりと納得して頂いた上で解約している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の意見・不満・苦情はしっかりと受け止め、話し合いを行い職員全員が周知して改善や対応に努めている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族様へ毎月1回ご利用者様個人の状況を手紙にし郵送している。近況の報告を来訪時にもお伝えしている。受診時には電話にて結果の報告をしている。菜の花新聞で職員の紹介をしている。金銭管理については、個人の出納簿で出入金の内容と領収書明細を郵送している。	○	毎月担当職員がご利用者様の状況をお便りでお知らせしているが、ご家族様が、更にご利用者様の様子を把握しやすいように努めていきたい。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様の意見・不満・苦情を来所時に聴く機会を設けるように取り組みを行っている。玄関入口にアンケートボックスを設置している。苦情については、ユニット会議やミーティングで検討し本社にも伝え早急な対応と改善に努めている。他の館で苦情が発生した場合は管理者会議で報告され、東苗穂館でも苦情が無い様に努めている。	○	苦情は介護の質やホームの質をよくする大切な事をご家族様にお伝えしているが、更にご家族様より意見等を話して頂ける環境に努めていきたい。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	事業者は職員の意見、要望を聴く機会を設けている。管理者会議、リーダー会議にて話し合い提案が取り入れられている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	ご利用者様やご家族様の要望に柔軟に対応できるよう、又年間行事やレクリエーション等に職員を確保出来るように勤務調整はしている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動、離職をされる時に引き継ぎを徹底して実施している。ダメージが少ないように、顔なじみの職員が出動するようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者、リーダー、新人、スタッフ、などの内部研修は充実している。外部の研修にも積極的に参加できるように運営者は取り組みを行っている。資格取得者には勤務調整をし学びやすい環境にしている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>地域のグループホームとの夏祭りを共催で行い、職員と共に交流をされている。区内の管理者会議でのネットワーク作りや勉強会に参加し、サービスの向上に役立っている。</p>	<p>○ 区内の同業者との研修会、勉強会等に積極的に職員が参加し意見の交換を行い更に交流が持てるように取り組んでいきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>ゆっくり休めるスタッフルームがある。ストレスになりそうな時には介護部長に相談する事ができる。又、雰囲気作りに努めている。休憩、休日は必ず取れるように配慮している。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>研修内でのレベルアップに力を入れ向上心をもって働けるように努めている。資格修得に応じての昇給や昇格手当がある。</p>	<p>○ 積極的に研修へ参加する事で、個々のスキルアップとなり、自信を持って努力する事で仕事への自信につながり、向上心を持って働ける職場環境となってきたが、更に向上心が持てるような職場作りに取り組んでいきたい。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前に面談をさせて頂き、意向や不安を傾聴し安心して暮らせるように説明を行っている。又ホームを訪問して頂き、不安な事等傾聴し納得して入居して頂ける様努めている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前や入居時にご家族様の不安をなくすようゆっくり傾聴をし、不安や悩みを受け止めその解消に最善を尽くし、信頼関係の構築に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご利用者様、ご家族様の相談、意向や状況を把握して、必要に応じサービスの情報収集に努め、支援を検討し早急に対応できるよう努めている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に面談を設けホームを見学して頂き、ご利用者様、ご家族様と一緒におやつを食べたり、アクティビティを見て頂いて、日常の雰囲気馴染める環境作りに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	毎日調理や食器拭き、ご利用者様の居室の拭き掃除、更に夏になると畑の種まきや苗植え等教わる事が多く、家族として生活しているという視点で暮らしが出来るよう努めている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様の日々の健康状態を伝え、更にご家族様へ毎月お手紙で近況報告をしている。ご家族様より情報や提案を頂く事もある。又、ホーム内の行事に参加して頂き一緒に喜怒哀楽を共にし、ご利用者様との関係を築いている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご利用者様とご家族様との関係を理解した上で、ご利用者様の日々の生活の情報提供をしている。ご家族様の要望も聞き、お互い理解しながらより良い関係を築いていけるよう支援している。又、ご利用者様も時々ご家族様と一緒に外出している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご家族様、ご兄弟、ご親戚等多くの方が面会に来て頂けるよう、必要に応じて連絡を取っている。又、ご家族様と電話連絡をされている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ご利用者様同士の関わりを理解し、把握しながら一人ひとりの気持ちを大切に孤立せず、トラブルにならないようにスタッフが調整役となって支援している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	長期入院などで退去された方にはお見舞いに行ったり、相談を受けたりして継続的な関わりが持てるように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様やご家族様からの意向を入居前、入居されてからも聞く機会を持ち把握するように努めている。毎日の生活中で表情や言動などを観察し希望、意向などサインをくみ取れるよう努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時ご家族様に記入して頂いたセンター方式の基本情報を熟読、把握しご利用者様への理解を深めるよう日々努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	スタッフが仕事の開始前に、必ずご利用者様の心身状態、生活状況を把握し、顔の表情、体調等を見るように心がけている。又、出来ないところを見るのでは無く、現状を把握し支援するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様の意向を聞き、月一回のスタッフ全員のカンファレンスで課題、介護計画サービスについて話し合い介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	基本的には3ヵ月毎の評価と見直しを行っている。又、状況の変化や、退院時など身体の状態、疾病、その他変化が見られた場合は、その都度介護計画の見直しをし現状に即した計画を作成している。		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	食事、水分摂取量、体重等を記入している。ご利用者様の日々の生活の様子を介護日誌、介護記録に記載し、カンファレンスで情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご家族様の要望を受け入れ病院受診をしている。リフト車、ワゴン車、大型バスなどで外出の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ご利用者様の希望、要望により、行事計画を行い、消防署の協力を頂き地域の方と防災訓練を実施した。又、町内会の苗植えにも参加している。小学校の学習発表会等に行き演劇や演奏を楽しまれた。又、地域の婦人部の方々が作られた雑巾を沢山頂き、日々清掃時にご利用者様が使われている。更に地域との連携が取れる様に努めている。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現状ではサービスを利用している方はいない。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議には必ず地域包括支援センターの担当者が出席して頂いている。情報交換や協力関係を築いてサービス向上に役立っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	ご家族様、ご利用者様の要望に合わせて訪問診療、又は希望される病院にて適切に医療が受けられるよう支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医の受診が必要な時は、その都度担当医に連携を取り、紹介状を書いて頂き専門医の診療を受けている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回訪問看護師がご利用者様の健康管理に来ている。ご利用者様の日々の状態に何か気になる変化があった場合、相談し指示を受けている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院に面会に行ったり、ご家族様と連絡を取り、状況、情報交換をしている。又、担当医の病状説明の際も同席させて頂き、早期退院に向け連携を取っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居時に重度化した時の対応指針の同意書を頂いている。ご利用者様が重度化した際、ご家族様の希望を考慮し担当医、ご家族様、スタッフ、医療サイドとも話し合い、納得の得られる選択が出来るよう支援している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご利用者様が最期迄ホームで生活して頂けるようご家族様、訪問診療、訪問看護師、スタッフと相談、ホームで「出きる事」「出来ない事」も含め相談している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様、の意向を十分に聞き、住み替え希望に対応している。住み替えの際はプライバシーに配慮しアセスメント、介護計画等情報を提供し次の転居先でも同じような生活が出来る様努めている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>ご利用者様の尊厳や誇りを大切にしながら、プライバシーが損ねるような言葉づかいや対応になっていないか、注意しながら支援している。個人情報 は人目に触れない様に管理している。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の状況を見ながら理解力に合わせて希望や自己決定が出来るように対応している。意志表示の困難な方には表情、サインを読み取り支援している。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご利用者様が過ごしやすいよう、起床時間や入浴時間など希望にそって無理強いをせず、利用者様のペースに合わせた支援をしている。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>理美容は月一回利用されカット、パーマ、毛染をされている。ご家族様の要望で通いなれた美容室を利用しているご利用者様もいる。毎日の洋服は自ら選んで頂いている。選択が困難な利用者様のみスタッフが選ぶ事もある。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>ご利用者様に合わせ、食器拭き、調理補助、お食事のセットや後片づけ等をして頂いている。好みのメニューを取り入れて外食等楽しむ事もある。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	今はお酒、煙草を嗜む方はいない。ご利用者様の嗜好については把握をしている。、おやつは好みの物を食べて頂いている。飲み物も選んで飲んで頂いている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表からご利用者様一人ひとりの排泄パターンを把握しトイレ誘導をしている。又リハビリパンツから綿の下着に替えて、パットの使用を減らす支援をしている。便秘の改善に運動や食事の改善に努め自然排泄が出来るよう努めている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	ご利用者様に喜んで頂けるように季節に合わせた菖蒲湯、ゆず湯、など行っている。午前、午後に分けて希望に合わせた時間帯に、週2回から3回の入浴やシャワー浴の支援を行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりご利用者様の状況に合わせた休息等、安眠の提供、自由に過ぎて頂いている。夜間眠れない方は、ホットミルクやお話を聞きご利用者様が安心出来るよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ご利用者様の出来る事、食事の準備、お茶碗洗い、掃除など、一人ひとりの役割を持って頂いている。毎日のレクリエーションにはメリハリを付けて気晴らしの支援をしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理は基本的に事務所管理としている。ご家族様、ご利用者様の希望により少額のお金を持って過されている方もいる。近隣のスーパーに買い物に行かれお金の支払いをして頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご利用者様の希望を聞いて、天候に応じての散歩や畑で野菜を作ったり収穫をしている。又、清田館の畑に行き野菜の収穫を楽しんでいる。買い物に出かけたり、洗濯物を外で干したり、外気に触れて頂いている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	毎月行事を実施している。初詣、節分、誕生会、花見、外食バイキング、お祭り、紅葉狩りなど楽しませている。個別に買い物やご家族様と遠方へ出かけられ外泊されているご利用者様もいる。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様の希望でご家族様に、自ら電話を掛けている方もいる。年賀状を書く事の支援をしているが字の書けないご利用者様には代筆している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間は決まっていないので、いつでも気軽に立ち寄って頂いている。居室にてゆっくりお話しをされ、居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束はあってはならない事と認識している。毎月のカンファレンスの中で、話し合いを行い、本社、外部研修などでも勉強をし、身体拘束の無いケアの取り組みを行っている。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中居室や玄関、リビングに鍵は掛けずに自由に暮らしが出来る支援をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	料理を作りながら、更に記録を書きながらさりげなく見守りをしている、又生活チェック表に確認後のサインを行い常に所在確認をしている。夜間は待機して1時間後とに巡回をし安全に配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬は鍵がかかる場所に保管している。漂白剤、洗剤等危険な物は施錠している。日常的に使用する石鹸や歯磨き粉は個々の状態に応じて制限はしていない。	○	ご利用者様の状況にあった危険の防止を常に行っていききたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ご利用者様の状態を把握して予測される危険についてケアカンファレンスで検討、事故を未然に防ぐよう努めている。インシデントレポート、ひやりハット報告書を職員間で話し合い、原因を把握し、対応策等を検討し、職員が共有認識を図り再発防止に努めている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急対応マニュアルがある。急変時を想定して応急手当の勉強会、研修の参加を定期的に行っている。	○	全ての職員が応急手当が出来るよう、ユニット会議でイメージトレーニングを実施したい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力で、昼間と夜間を想定しての防災訓練を年二回定期的に行っている。防災訓練では近隣の方の協力を得て実施している。又、地域住民の方の連絡簿も作成されている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	認知症の進行や年齢による身体機能の低下などによる個々のリスクについて、ご家族にお話しをしている。ご家族に理解を頂く事で、いつも相談し最善策を考え抑圧感のない暮らしが提供できるように努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタル測定その他、水分、排泄状態、食事の摂取状況を記録して体調の変化の目安にしている。又、日々の観察等を見逃さずスタッフ間での情報を共有し早期に対応している。異変があった時は介護日記に特記事項として記録している。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を個人ファイルに綴じ、いつでも確認ができるようにしている。服薬の変更時は必ず処方内容を良く読み、理解するように努めている。又、副作用や用法、用量について確認するようにしており、不明な点があれば医者や薬剤師に相談している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘の原因や便秘が及ぼす影響について把握している。更に排便表を付けて排便管理をしている。便秘の予防に腹部マッサージや便秘予防体操を行っている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔内を清潔に徹底できるように毎食後、個々の口腔状態を清潔にできるよう、支援をしている。就寝時の義歯を預かり洗浄、消毒を行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士によりカロリー計算がされ、バランスの良い献立となっている。ご利用者様の状態や習慣によって食事のメニュー、量や味の調整、刻み食、トロミ等の工夫を行い支援している。水分摂取量は水分表の記録等でチェックしている。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルの他、内部研修で感染症について学んでいる。毎日3回てすりや、床、等の消毒を行っている。又、来設されたご家族様、来客には手洗い、うがいの徹底の他、健康状態の確認を行い、外部からの感染防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理器具、食器の消毒を毎食後行っている。調理をする時は調理用エプロンに替えている。食材は新鮮な物が1日おきに配達されている。食材の取扱については、食事2時間前に調理開始、冷凍ものの取扱は常温では解凍せず、冷蔵庫内での解凍に徹底している。冷蔵庫内も消毒し、味覚期限も点検している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	ホーム周りや玄関入口に花壇を整備しており、畑があり、近隣の方が安心して出入りしやすい玄関になるよう工夫をしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には季節の花を飾ったりトイレや浴室、リビングなど常に清潔にし、気持ち良く使用して頂けるように努めている。不快な音や光がある時は対処し、光の調整には個々のカーテンを設置し工夫をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間で、食卓やソファで話されたり、テレビを観たり、ご利用者様同士で思い思いに楽しく過ごせる居場所の工夫をしている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には使い慣れたタンス、椅子、仏壇を持参されているご利用者様もいる。又、懐かしい写真やテレビ、ご自分で描いた絵や作品など居室に飾っている。ご家族様、ご利用者様と相談し居心地良く過ごせる工夫をしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	毎日換気を行っている。加湿器は2台設置し、更に、洗濯物を干して湿度に配慮している。ご利用者様の状況に応じこまめに湿度調節を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物は鉄筋3階建てでバリアフリーを取り入れて階段の他、エレベーターが設置されている。廊下、トイレ、お風呂に手すりが付いている。個々の身体状況に合わせて自立支援ができるようになっている。浴槽は両サイドより介助が出来る様になっており、安全に生活が送れるよう工夫している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご利用者様の分からない事、分からなくなった事を把握する事で職員やご家族様からの情報、ご利用者様の生活歴などを参考にして自立支援に取り組んでいる。リビングには手作りのカレンダーや表札を付けている。時計もリビングに2ヶ所以外にも廊下、脱衣所などに設置している。ご利用者様一人ひとり、何が分かりにくいかを把握し状況に応じ対応している。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	畑や庭には季節の花や野菜が植えられ、観賞や収穫を楽しめるようにしている。玄関には花を育てて、水やりなどご利用者様が出来るようになっている。又、洗濯物干しが設置されている。自ら洗濯物干して頂き、回収出来るようになっている。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>ほぼ全ての利用者</u></li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>毎日ある</u></li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>ほぼ全ての利用者</u></li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>ほぼ全ての利用者</u></li> <li>② <u>利用者の2/3くらい</u></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>ほぼ全ての利用者</u></li> <li>② <u>利用者の2/3くらい</u></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>ほぼ全ての利用者</u></li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <u>利用者の2/3くらい</u></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② <u>家族の2/3くらい</u></li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ毎日のように</li> <li>② 数日に1回程度</li> <li>③ <u>たまに</u></li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大いに増えている</li> <li>②少しずつ増えている</li> <li>③あまり増えていない</li> <li>④全くいない</li> </ul>
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての職員が</li> <li>②職員の2/3くらいが</li> <li>③職員の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての家族等が</li> <li>②家族等の2/3くらいが</li> <li>③家族等の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ・ ご利用者様の出来る事を最大限に発揮して頂けるよう、本人の要望で掃除・調理・食事のセットや後片付け・洗濯物干し・洗濯物たたみ等一人ひとりの役割が出来ている。入居者様が笑顔で過ごして頂けるよう、アクティビティについてもご利用者様と一緒に何をしたいか相談しながら行っている。春には畑に苗植えをし、夏にはキュウリ・なす・トマト・イモの収穫をし、楽しんでいる。
- ・ 体力・下肢筋力が低下しない様に毎日、ご利用者様に合わせた体を動かす体操を続けている。又午後には体力アップ体操を行っている。
- ・ 地域のグループホームと合同で夏祭りを開催し、地域の皆様と触れ合う事が出来、その後町内会婦人部の方々の手作りの雑巾や近隣に住んでいる方より、手作りの袋物などご利用者様の日常必要な品を頂く等、地域との連携が取れるようになって来ている。